



市長は戸川土地区画整理事業の立ち退き予定住民との合意形成をせよ

日本共産党 露木 順三

一 戸川土地区画整理準備組合への技術的援助等について

問 市長は、平成31年3月20日に戸川土地区画整理事業予定地内の住民代表3人との住民立ち退きと通学路廃止計画の撤回を求める嘆願書の読み合わせの中で、「住居移転は大変なこと。よく理解できる。多数決は間違った方法だと思ふ。」と発言しているが、間違いないか。

答 住民合意を求めていくため、さまざまな場面を使い関係者に納得していただける区画整理を丁寧に進めていきたいと申し上げた。

二 地下水保全等について

問 本市は地下水を公水と認識し、地下水を涵養し水量を保全することにより市民の健康と生活環境を守ることを条例で定めている。戸川土地区画整理事業に飲料メーカーの進出案があるが、9年前と比べ市内の涵養水田が約半分減っている現状で、水量を保全し地下水を守ることはできるか。



戸川地区産業利用促進ゾーン周辺

地域住民とともに加茂川地区のまちづくり整備の進展を

自民・新政 川口 薫

一 表丹沢の魅力づくりについて

問 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、県と連携して県立秦野戸川公園にスポーツクライミング施設を整備するが、取り組み状況はどのようか。

答 施設の完成により複合種目が実施できる全国有数の拠点となるため、JOCなど関係機関・団体との情報交換を図りながら、事前キャンプ誘致活動に取り組む。令和元年7月にはスポーツクライミング秦野丹沢カップを開催し、競技の普及促進を図りたい。

問 秦野サービスエリア(仮称)スマートICの整備など、庁内の

陳情・意見書

多様化するニーズに応じたきめ細やかな教育環境の実現を

令元陳情第4号 子供たちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

子ども、保護者のニーズに応じたきめ細やかな教育を実現し、豊かな教育環境を整備するため、基礎定数化を含めた計画的な教職員定数改善を推進すること、豊かな学びの環境創出と保護者負担軽減のため、教育予算を増額すること、教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担割合を従前の2分の1まで拡充することについて

▼願望

子どもたちに豊かな学びを保障し教育を取り巻く環境のさらなる充実を図るため、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出するもの。

▼要旨

子どもたちに豊かな学びを保障し教育を取り巻く環境のさらなる充実を図るため、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議 採 択 (賛成全員)

議提案第4号 教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について

子どもたちに豊かな学びを保障し教育を取り巻く環境のさらなる充実を図るため、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出するもの。

▼要旨

子どもたちに豊かな学びを保障し教育を取り巻く環境のさらなる充実を図るため、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出するもの。

地域の実態を踏まえた最低賃金制度の導入を

令元陳情第3号 神奈川県最低賃金に関する陳情

最低賃金は県内同一の金額となっているが、中小企業・小規模事業者の業種別の経営実態をよく調査し、また、地域ごとの実態を踏まえ、業種別にきめ細やかな制度設計を導入し、不均衡の是正を図るよう国や県に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果

本会議 採 択 (賛成全員)

議提案第5号 神奈川県最低賃金に関する意見書の提出について

最低賃金制度を、地域ごとの中小企業・小規模事業者の経営実態や小売業などの状況を踏まえたきめ細やかな制度とし、地域間や業種別における不均衡の是正を図ることについて、国や県に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議 原案可決 (賛成全員)



2019スポーツクライミング 秦野丹沢カップの様子

答 国の限られた財源を有効活用するため、曾屋名古屋線をはじめとする主要道路の有効性や費用対効果など、客観的な指標を用いて整備効果の高い路線を選定し、計画的な整備を検討している。

要望 加茂川地区の道路整備について、全庁的に調整し、今後の在り方を検討してほしい。

南小学校児童による議場見学

市役所見学の一環として、5月22日(水)に南小学校の3年生222人が議場見学に訪れました。

子どもたちは議会の仕組みについての説明を熱心に聞き、普段座ることができない議長席に座って、議長体験をするなど、さまざまな体験をしました。



議場に来ませんか?

より多くの市民の皆さんに議会に関心を持っていただき、議会の役割や議員の活動を知り、自分の住むまちを考えるきっかけにさせていただけるよう、議場見学や議会傍聴などに取り組んでいます。

見学受付中

いつでも議場の見学を受け付けています。学校や各種団体などグループ単位のほか、親子など少人数でも見学できます。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。



こちらから

7月28日(日)に4回目となる夏休み子ども議場見学会を開催しました。当日は、小学3年生から6年生の児童とその保護者8組20人が参加し、阿蘇議長・山下副議長との名刺交換や議員体験、施設見学などを行いました。最後は、議長から修了証が手渡され、参加者全員で記念撮影をしました。

夏休み子ども議場見学会

